

## 作物統計調査

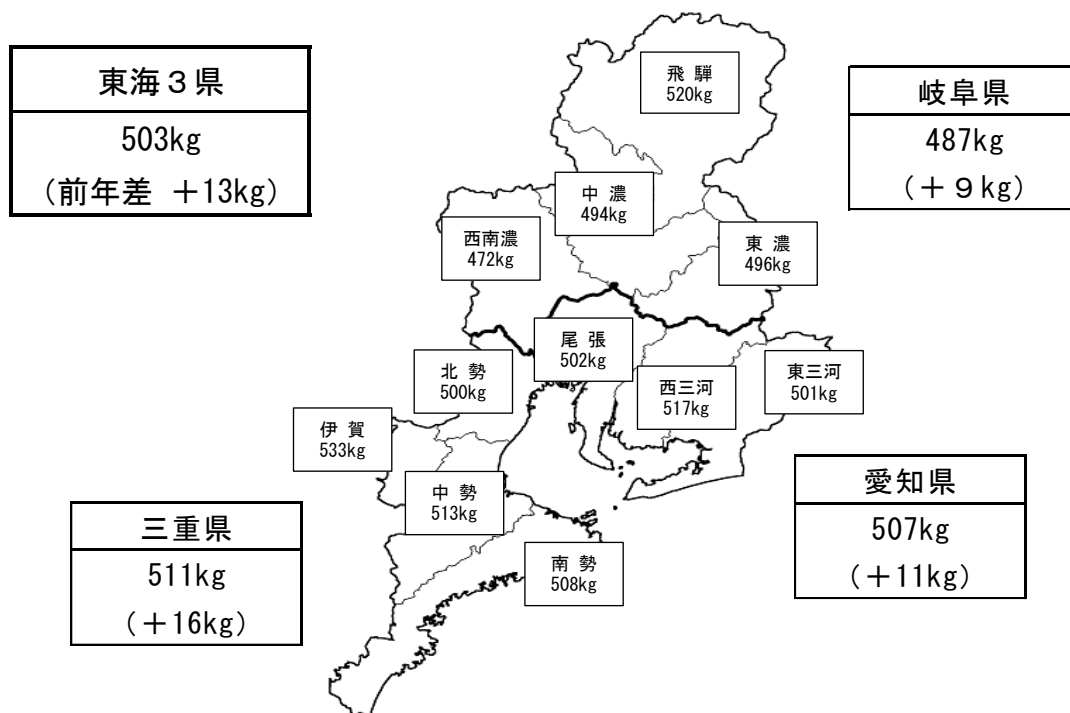
# 令和4年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

— 10a当たり予想収量は503kgの見込み —

### 【調査結果の概要】

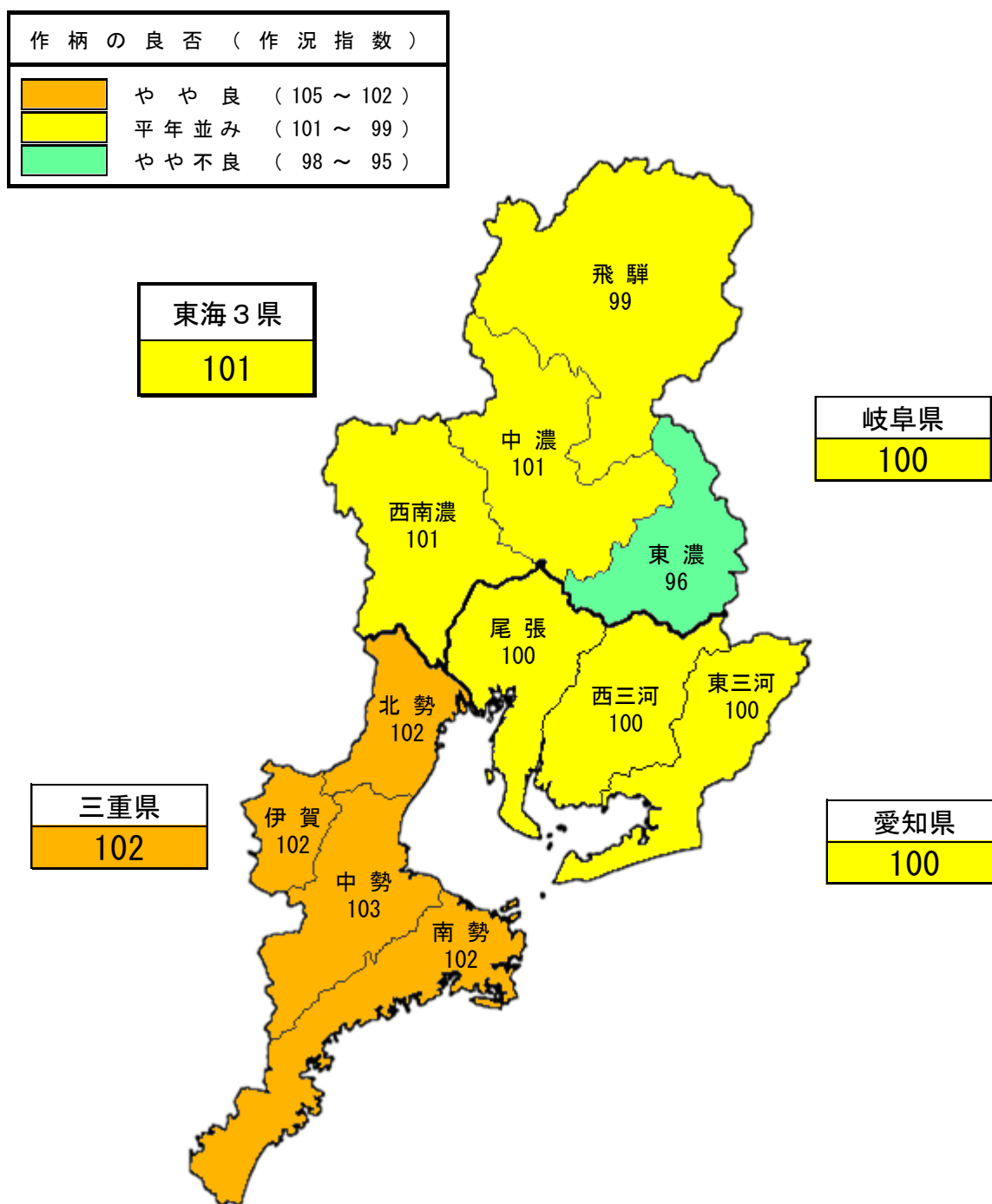
- 1 東海3県（岐阜、愛知及び三重）における令和4年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は8万1,500haで、前年産に比べ600haの減少が見込まれる。うち主食用作付面積は7万300haで、前年産に比べ2,100haの減少が見込まれる。
- 2 9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は503kgとなった。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は101が見込まれる。
- 3 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は35万4,000tで、前年産に比べ1,100tの減少が見込まれる。

図1 県・作柄表示地帯別10a当たり予想収量（9月25日現在）



- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日現在）を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。なお、農家等が使用しているふるい目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）ベースの作況指数は2ページを参照。
- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
- 東海3県は東海農政局が管轄する地域（静岡県を含まない。）であり、全国農業地域における東海（静岡県を含む。）とは一致しない。

図2 県・作柄表示地帯別作況指数（9月25日現在）



注： 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率であり、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

水稻の年次別推移

1 東海3県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成25年産	87,500	85,300	511	435,700	83,300	425,900	102
26	86,300	82,900	493	408,700	80,900	398,300	99
27	85,100	78,900	492	388,200	77,000	378,800	99
28	84,600	77,500	511	396,300	75,600	386,500	102
29	84,100	76,700	494	379,200	74,900	369,700	99
30	83,800	77,600	493	382,500	75,300	371,200	98
令和元	83,300	77,400	486	375,900	75,000	364,100	97
2	82,800	77,000	480	369,900	74,500	357,900	96
3	82,100	74,300	490	364,300	72,400	355,100	98
4 (概数値)	81,500	..	503	..	70,300	354,000	101

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下、4まで同じ。）

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下、4まで同じ。）。
- 2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下、4まで同じ。）。
- 3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（以下、4まで同じ。）。
- 4 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（東海は1.80mm）以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降の作況指数は、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（以下、4まで同じ。）。
- 5 「..」は、未発表であることを示している（以下、4まで同じ。）。

## 2 岐阜県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成25年産	25,600	24,700	495	122,300	24,300	120,300	101
26	25,300	24,100	482	116,200	23,500	113,300	99
27	25,200	22,500	481	108,200	22,100	106,300	99
28	25,300	22,200	486	107,900	21,700	105,500	100
29	25,200	21,900	488	106,900	21,500	104,900	100
30	25,100	22,500	478	107,600	21,500	102,800	97
令和元	25,100	22,500	482	108,500	21,400	103,100	99
2	25,000	22,500	470	105,800	21,400	100,600	96
3	24,800	21,600	478	103,200	20,700	98,900	98
4 (概数値)	24,600	..	487	..	20,000	97,400	100

## 3 愛知県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成25年産	31,000	30,300	519	157,300	29,500	153,100	102
26	30,500	29,300	504	147,700	28,400	143,100	99
27	30,000	28,100	503	141,300	27,200	136,800	99
28	29,700	27,700	521	144,300	26,900	140,100	103
29	29,400	27,500	512	140,800	26,600	136,200	101
30	29,200	27,600	499	137,700	26,700	133,200	98
令和元	29,000	27,500	499	137,200	26,600	132,700	98
2	28,900	27,400	490	134,300	26,400	129,400	96
3	28,700	26,400	496	130,900	25,800	128,000	98
4 (概数値)	28,500	..	507	..	25,200	127,800	100

## 4 三重県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成25年産	30,800	30,200	517	156,100	29,500	152,500	103
26	30,400	29,500	491	144,800	28,900	141,900	98
27	29,900	28,300	490	138,700	27,700	135,700	98
28	29,600	27,600	522	144,100	27,000	140,900	105
29	29,500	27,400	480	131,500	26,800	128,600	95
30	29,400	27,500	499	137,200	27,100	135,200	100
令和元	29,200	27,300	477	130,200	26,900	128,300	95
2	28,900	27,100	479	129,800	26,700	127,900	96
3	28,600	26,300	495	130,200	25,900	128,200	99
4 (概数値)	28,300	..	511	..	25,200	128,800	102

## 【調査結果】

### 1 東海3県

#### (1) 作付面積

令和4年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は8万1,500haで、前年産に比べ600haの減少が見込まれる。

なお、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は7万300haで、前年産に比べ2,100haの減少が見込まれる。

#### (2) 作柄概況

穂数は、田植期以降の天候に恵まれたことから、三重県で多く、愛知県でやや多くなった。岐阜県では6月中旬の低温、日照不足の影響により分けつが抑制されたことから、やや少なくなった。

1穂当たりもみ数は、岐阜県で穂数がやや少なかったことによる補償作用により多く、愛知県及び三重県で平年並みとなった。

全もみ数は、岐阜県及び三重県でやや多く、愛知県で平年並みとなった。

登熟は、愛知県及び三重県で平年並みが見込まれ、岐阜県で8月中旬以降の日照不足、降雨の影響によりやや不良が見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は503kgで、前年産に比べ13kgの増加が見込まれる。県別は、岐阜県で487kg（前年産に比べ9kg増加）、愛知県で507kg（同11kg増加）、三重県で511kg（同16kg増加）が見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は101の「平年並み」が見込まれる。県別は、三重県で102の「やや良」、岐阜県及び愛知県で100の「平年並み」が見込まれる。

#### (3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は35万4,000t（前年産に比べ1,100t減少）が見込まれる。

表 令和4年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり予想収量		主食用 作付面積	予想収穫量 （主食用）
	実 数	前年産との比較		実 数	前年産との比較		
		対 差	対 比			①	対 差
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
東 海 3 県	81,500	△ 600	99	503	13	70,300	354,000
岐 阜 県	24,600	△ 200	99	487	9	20,000	97,400
愛 知 県	28,500	△ 200	99	507	11	25,200	127,800
三 重 県	28,300	△ 300	99	511	16	25,200	128,800

注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 主食用作付面積及び予想収穫量（主食用）については県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

## 2 岐阜県

### (1) 作付面積

令和4年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は2万4,600haで、前年産に比べ200haの減少が見込まれる。

なお、主食用作付面積は2万haで、前年産に比べ700haの減少が見込まれる。

### (2) 作柄概況

穂数は、6月中旬の低温、日照不足の影響により、分けつが抑制されたことから、やや少なくなった。

1穂当たりもみ数は、穂数がやや少なかったことによる補償作用があったことから、多くなった。

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数が多くなったことから、やや多くなった。

登熟は、8月中旬以降の日照不足、降雨の影響によりやや不良が見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は487kgで、前年産に比べ9kgの増加が見込まれる。

作柄表示地帯別は、西南濃で472kg（前年産に比べ9kg増加）、中濃で494kg（同12kg増加）、東濃で496kg（同8kg減少）、飛騨で520kg（同5kg増加）が見込まれる。

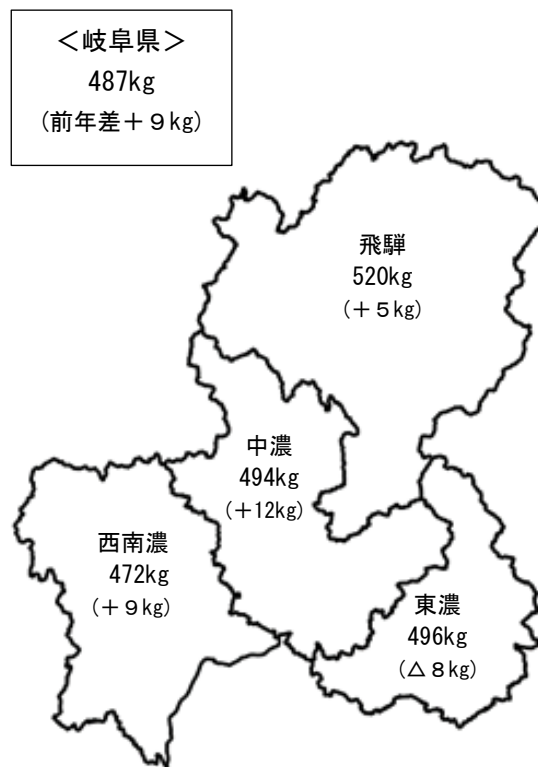
岐阜県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.80mm）の作況指数は100の「平年並み」が見込まれる。

作柄表示地帯別は、西南濃及び中濃で101、飛騨で99の「平年並み」、東濃で96の「やや不良」が見込まれる。

### (3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は9万7,400t（前年産に比べ1,500t減少）が見込まれる。

図3 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
（9月25日現在）



### 3 愛知県

#### (1) 作付面積

令和4年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は2万8,500haで、前年産に比べ200haの減少が見込まれる。

なお、主食用作付面積は2万5,200haで、前年産に比べ600haの減少が見込まれる。

#### (2) 作柄概況

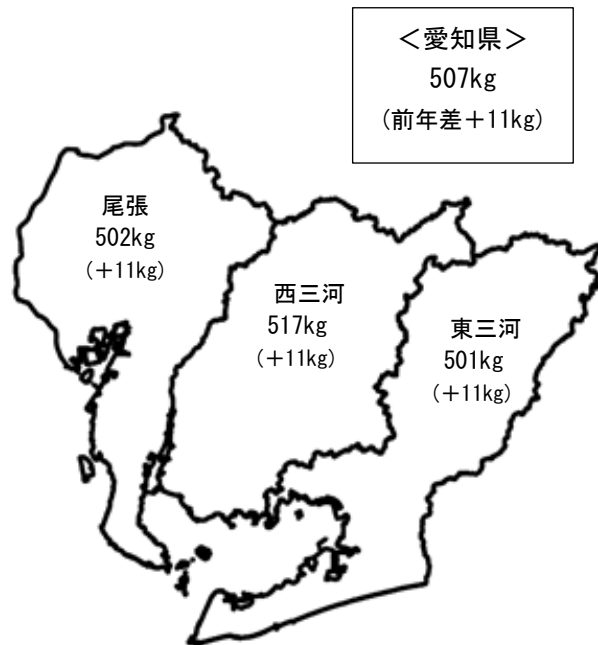
穂数は、田植期以降の天候に恵まれたことから、やや多くなった。

1穂当たりもみ数は、平年並みとなった。

全もみ数は、穂数がやや多かったものの、1穂当たりもみ数が平年並みであったことから、平年並みとなった。

登熟は、出穂期以降の天候がおおむね順調に推移したことから、平年並みが見込まれる。

図4 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
(9月25日現在)



9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は507kgで、前年産に比べ11kgの増加が見込まれる。

作柄表示地帯別は、尾張で502kg（前年産に比べ11kg増加）、西三河で517kg（同11kg増加）、東三河で501kg（同11kg増加）が見込まれる。

愛知県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は100の「平年並み」が見込まれる。

作柄表示地帯別は、尾張、西三河及び東三河で100の「平年並み」が見込まれる。

#### (3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は12万7,800t（前年産に比べ200t減少）が見込まれる。

## 4 三重県

### (1) 作付面積

令和4年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は2万8,300haで、前年産に比べ300haの減少が見込まれる。

なお、主食用作付面積は2万5,200haで、前年産に比べ700haの減少が見込まれる。

### (2) 作柄概況

穂数は、田植期以降の天候に恵まれたことから、多くなった。

1穂当たりもみ数は、平年並みとなった。

全もみ数は、穂数が多かったものの、1穂当たりもみ数が平年並みであったことから、やや多くなった。

登熟は、出穂期以降の天候がおおむね順調に推移したことから、平年並みが見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は511kgで、前年産に比べ16kgの増加が見込まれる。

作柄表示地帯別は、北勢で500kg（前年産に比べ13kg増加）、中勢で513kg（同17kg増加）、南勢で508kg（同25kg増加）、伊賀で533kg（同11kg増加）が見込まれる。

三重県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は102の「やや良」が見込まれる。

作柄表示地帯別は、中勢で103、北勢、南勢及び伊賀で102の「やや良」が見込まれる。

### (3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は12万8,800t（前年産に比べ600t増加）が見込まれる。

図5 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
（9月25日現在）

